

令和2年度 公開研究協議会

# 児童生徒の「生涯学習力」を高める 教育課程の編成

秋田大学教育文化学部附属特別支援学校

# こどもとひと・地域・未来をつなぐツールが必要…

個別の教育支援計画

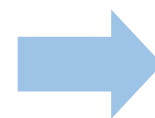


活用するためには  
**本人が主体**となって作るべき！

平成29～30年度 本人主体の個別の教育支援計画（私の応援計画）を活用した教育課程の編成

## 私の応援計画（児童生徒が主体となって作成する個別の教育支援計画）

自分の願い、夢、やりたいこと、なりたい自分



児童生徒が  
学びの主体者

「生涯にわたって学び続ける力」を身に付けてほしい



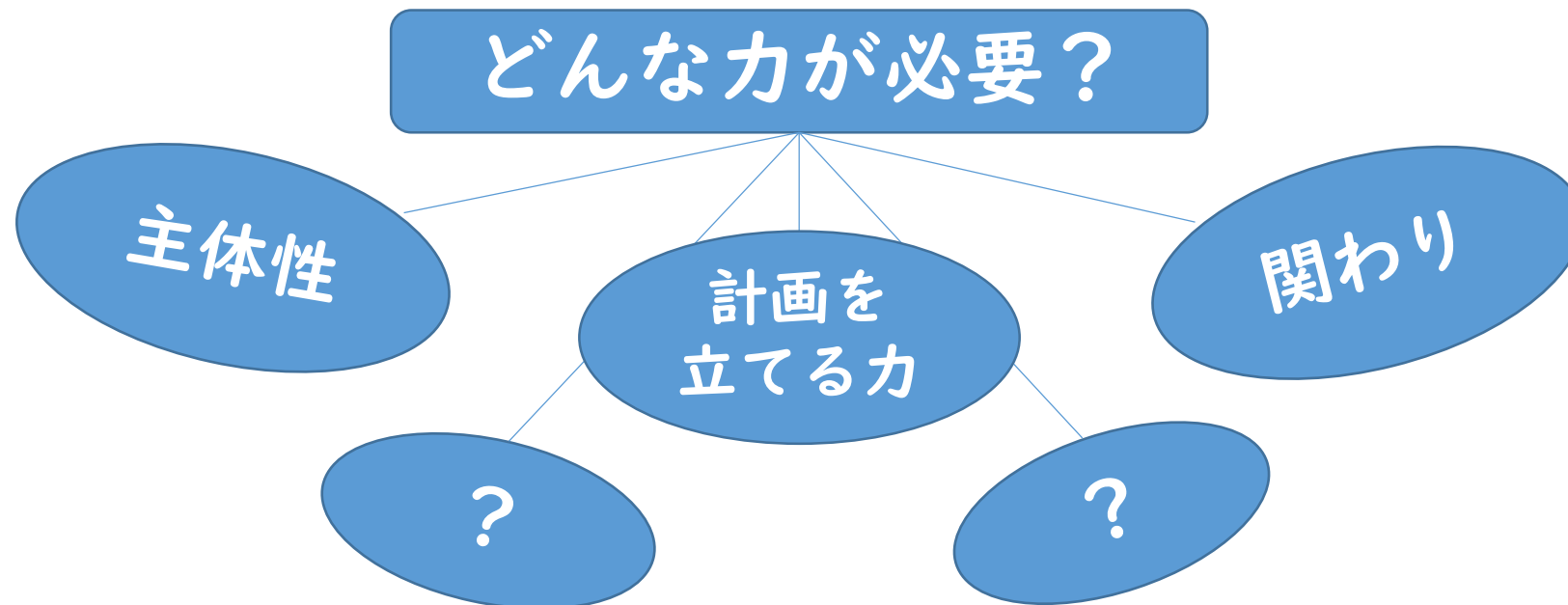
# 生涯学習力

主体的にヒト・モノ・コトに関わり、  
生涯にわたって学びに向かい、成長しようとする力



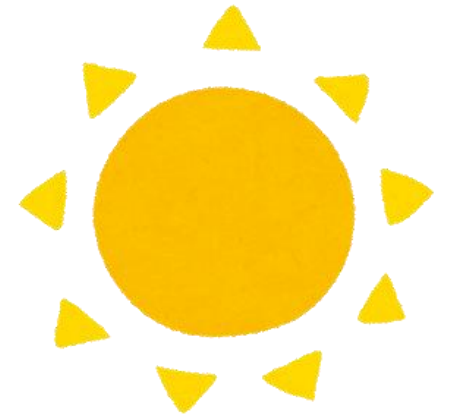
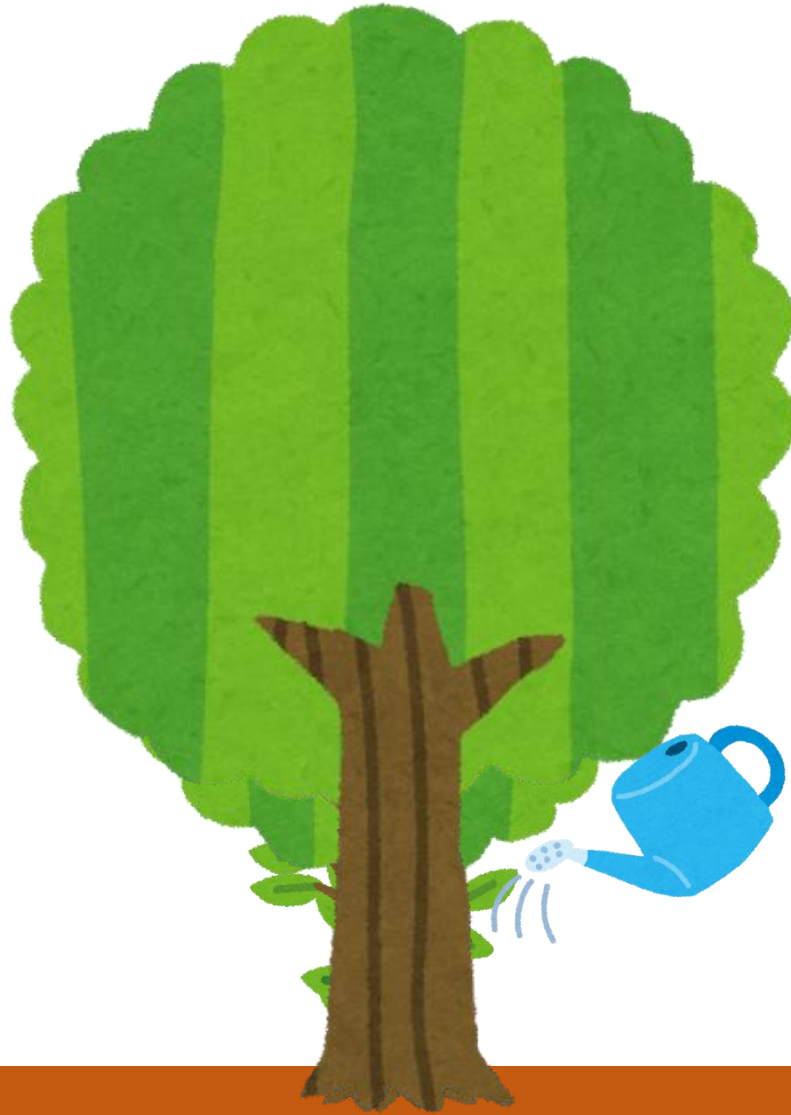
# 知らなかったことを知ること、 できなかつたことができるようになること、 そして、人や社会とつながることは、人間の根源的な喜び

文部科学省 学校卒業後における障害者の学びの推進に関する有識者会議 報告（平成31年3月）  
「障害者の生涯学習の推進方策について  
—誰もが、障害の有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会を目指して—」より



イメージ

# 生涯学習力の木



私の応援計画

研究主題：

児童生徒の「生涯学習力」を高める教育課程の編成（2年計画）

2020年度＝教育課程を編成するための研究

「生涯学習力を高める教育課程とは？」

2019年度＝基礎研究

「生涯学習とは？生涯学習力を高めるためには？」

## 生涯学習についての研修会



## 3つのワーキンググループによる研究

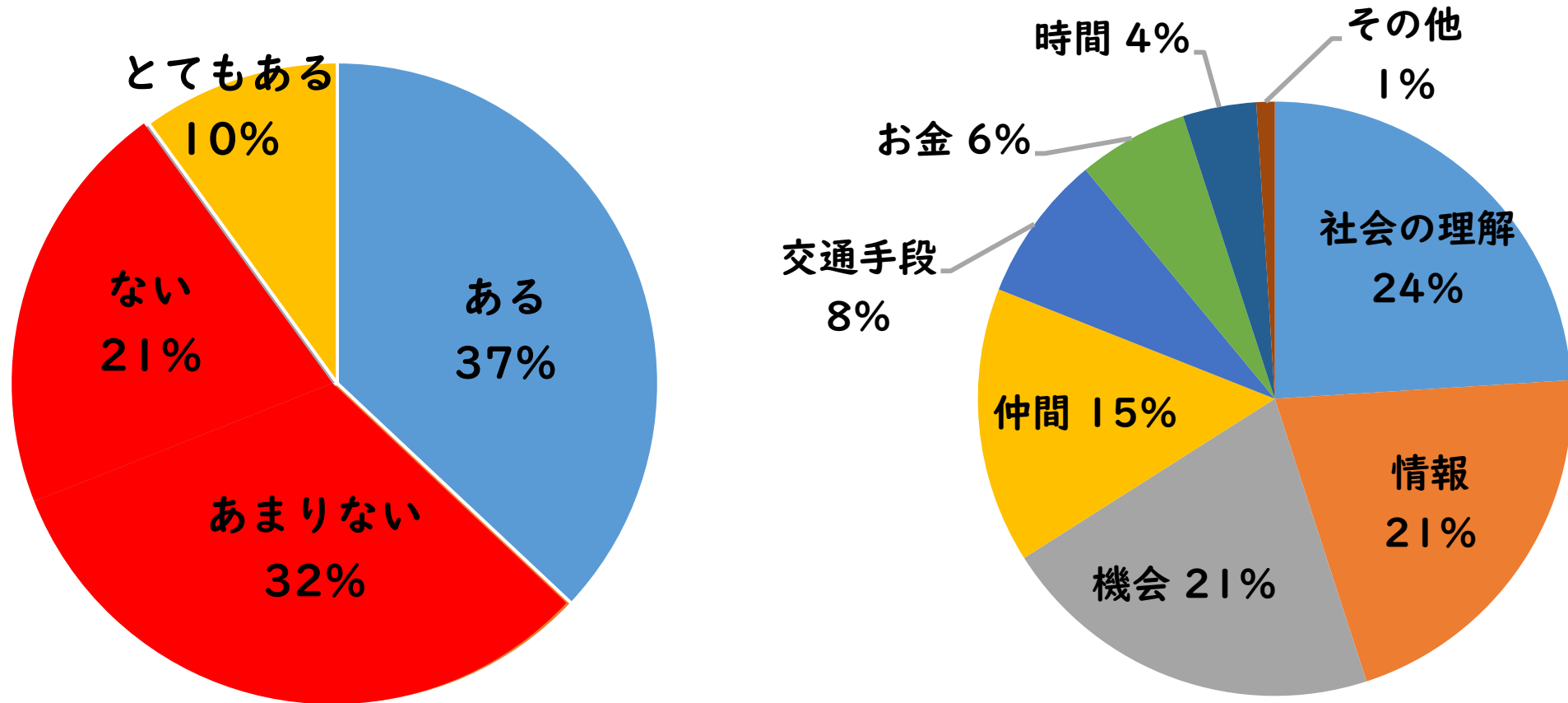
リサーチ  
グループ  
卒業生の意識調査

資源活用  
グループ  
地域・人的資源の  
整理・開拓・連携

MIグループ  
学びに向かう力を  
高めるための  
MI(マルチ知能)の  
活用、授業実践

# 2019年度 生涯学習とは？生涯学習力を高めるためには？

## 学べる機会や情報が身近にあるか？ 生涯学習を進めていくための課題

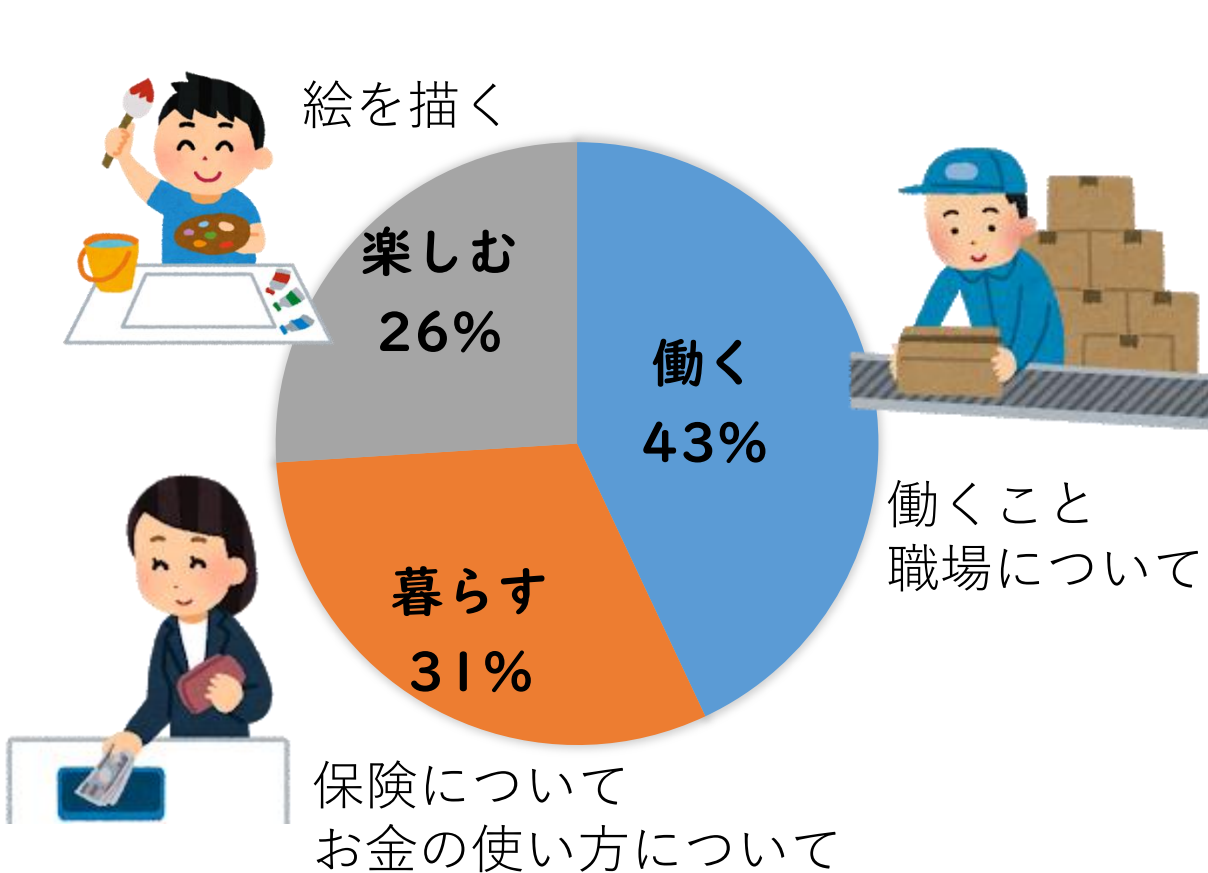


アンケート調査（平成24年度から平成30年度卒業生及び保護者41名）

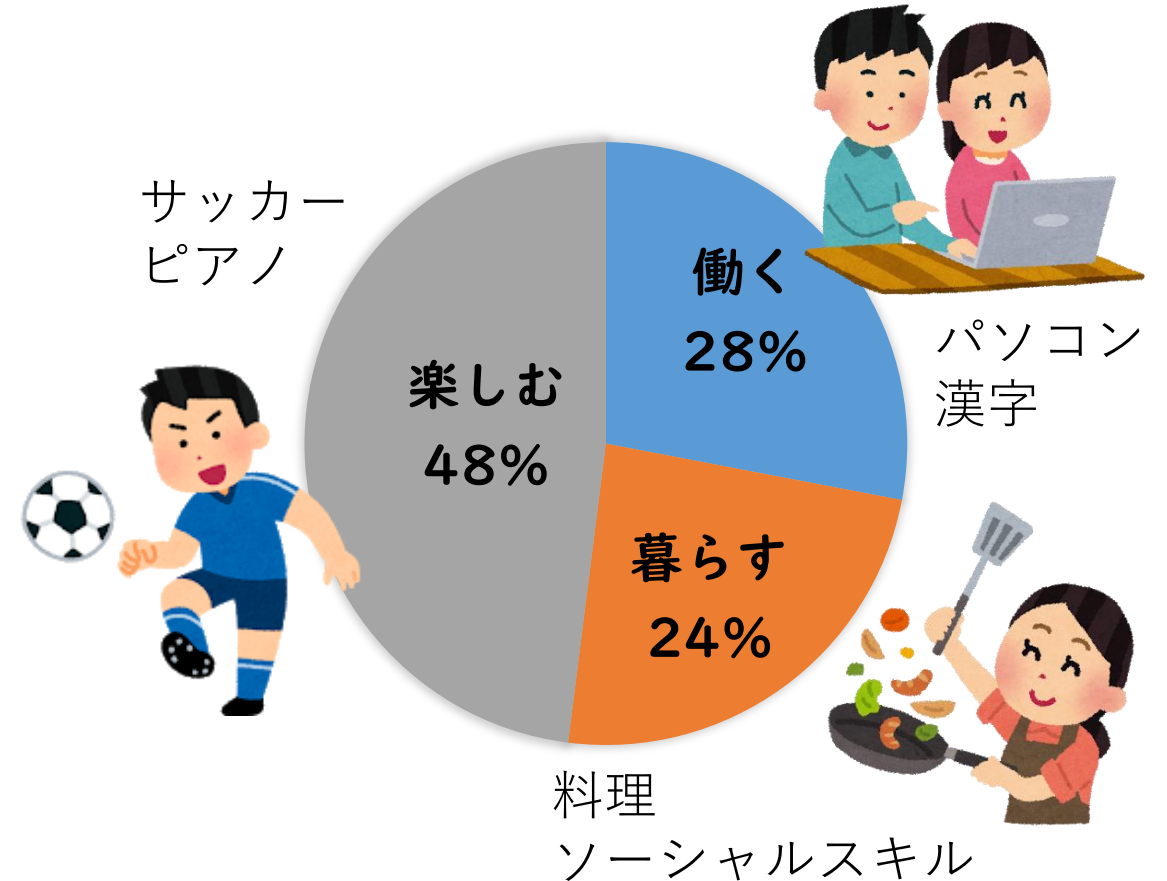


# 2019年度 生涯学習とは？生涯学習力を高めるためには？

## 学校でどんなことを学びたい？



## 卒業後どんなことを学びたい？



アンケート調査（本校高等部生徒26名）

# 2019年度 生涯学習とは？生涯学習力を高めるためには？



## 地域資源の活用一覧

<R1. 9. 10>



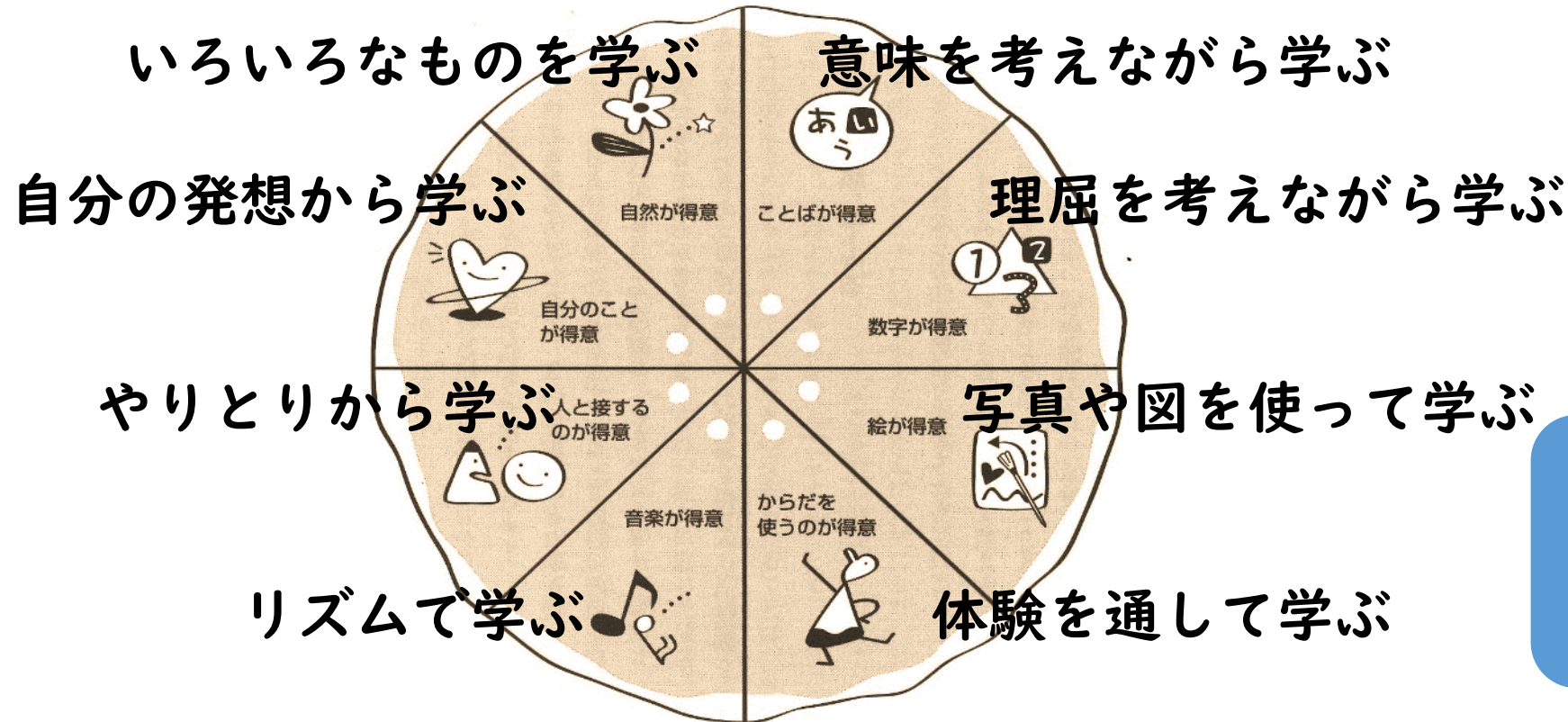
【活用の目的】 ○関わりの広がり ◇社会や知識・技術を学ぶ □人の役に立つ、認められる ☆地域へ発信、啓発

	現在活用している地域資源	地域にとってのメリット	今後に向けて	
小学部	社会環境資源	○給食交流 交流及び共同学習（附属小学校）	関わりの広がり 障害者理解 コミュニケーション	給食交流のねらいの明確化 児童も分かっての活動
		◇遊びの広がり（秋操公園）	施設の有効活用	選択の幅の広がり
		○トランポリン教室（Msスポーツ）	施設の有効活用 障害者理解	運動活動量の確保
		○幼稚園との交流（附属幼稚園）	関わりの広がり 施設の有効活用	
		△校外学習（大森山動物園）	施設の有効活用	
		○◇宿泊学習（まんたらめ）	施設の有効活用	連続した教育課程の検討
	人的資源	◇図工の学習（長瀬先生と）	知識や技術の伝達 余暇活動の広がり 共生社会	家庭学習との関連
		◇生け花サークル（フラワーアレンジメント教室 村井さん）	障害者理解 技術の伝達	
社会環境資源	○□幼稚園児との交流（ウェルビューいずみ）	施設の有効活用 関わりの広がり 活動の発信	相互の連携	
	○□製品販売（保戸野コミセン、秋田大学）	地域の学校との交流の機会	製品の更なる開発 作業時間の確保	
	◇職場体験（緑光苑、明成園など）	障害者理解 障害者雇用に向けて	体験できる職場の広がり	

# 2019年度 生涯学習とは？生涯学習力を高めるためには？

MIとは…「マルチ知能」「多重知能」

人間の行動、思考、感情を脳の働きをもとに、8つの知能から捉えたもの



学び方を  
多面的に捉える

学びやすく  
分かりやすい授業  
ユニバーサルデザイン

## 自己理解

得意なMIを自覚し、  
学び方を学ぶ

(例) 「書いて教えてください」  
「やってみてもいいですか？」



## 問題発見

得意なMIを生かした  
活動の中で、自分から  
課題に気付く

何を学ぶか  
どう学ぶか

自分が分かりやすい学び方を、  
積極的に周りに伝えられるようになってほしい



2019年度の基礎研究から

## 生涯学習力を高める授業づくりのポイント

小学部

中学部

高等部



かかわる



きづく

やってみる



つながる (ヒト・モノ・コト・地域・社会・学び・未来)

生きがいのある充実した生活

## 生涯学習力を高める**教育課程編成のポイント**

### Connect

**外部講師、社会教育施設と連携した題材・単元の開発**

(例) 生涯学習センター社会教育主事による  
防災教室



### Select

**自ら学びたいことを選んで学ぶ体験の保障**

(案) 選択学習の実施  
(文学、パソコン、歴史、科学…)



### Planning

**児童生徒が計画段階から関わる単元構成**

(例) 学習で活用したい施設の予約を自ら行う  
行事の事前学習を高学年が行う



# 2020年度 生涯学習力を高める教育課程とは？

## LLミーティング

Lifelong Learning meeting

はたらくWG

くらすWG

たのしむWG



## 全校授業研究会

小学部：図画工作科  
(授業づくり研修会)

中学部：作業学習

高等部：Dスタディ

## 研修会

オンラインでの「夏のセミナー」

研究協力者による研修

# 2020年度 生涯学習力を高める教育課程とは？

## LLミーティング

Lifelong Learning meeting

高等部

中学部

小学部



## 全校授業研究会

小学部：図画工作科  
(授業づくり研修会)

中学部：作業学習

高等部：Dスタディ

## 研修会

オンラインでの「夏のセミナー」

研究協力者による研修



# 2020年度 生涯学習力を高める教育課程とは？

## LLミーティング

Lifelong Learning meeting

全 体



## 全校授業研究会

小学部：図画工作科  
(授業づくり研修会)

中学部：作業学習

高等部：Dスタディ

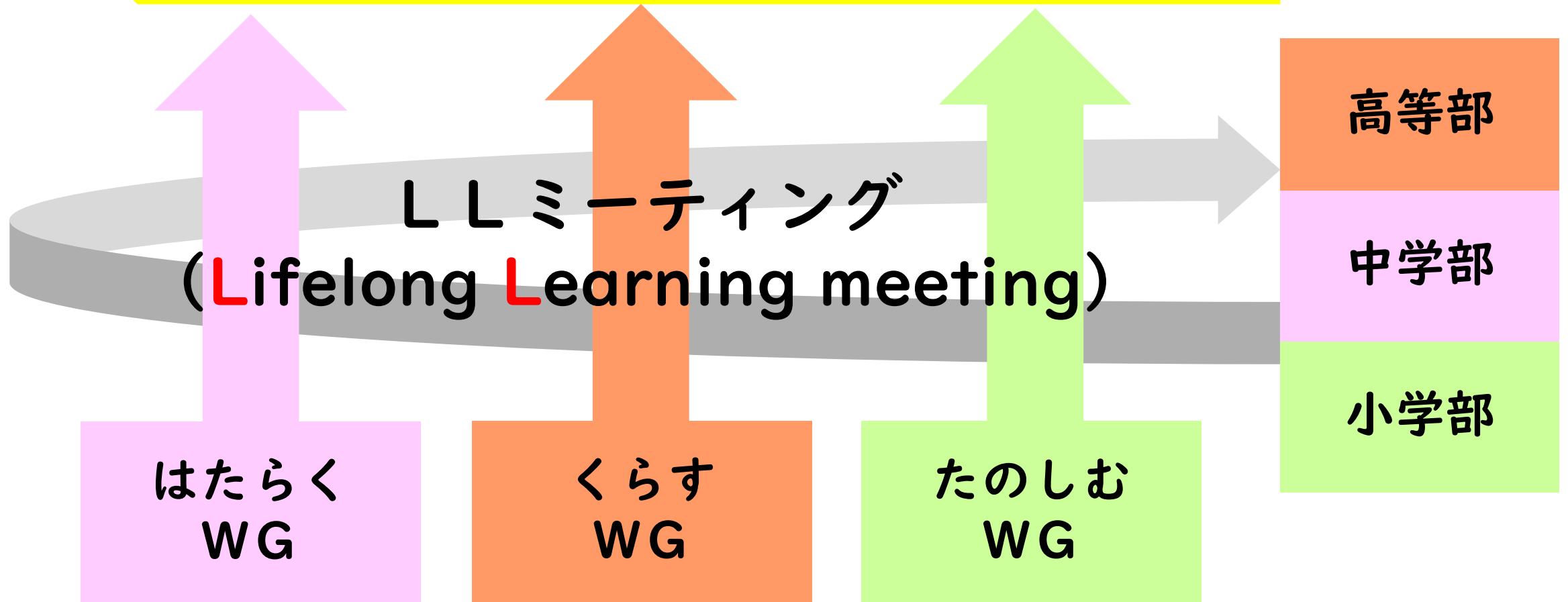
## 研修会

オンラインでの「夏のセミナー」

研究協力者による研修

# 2020年度 生涯学習力を高める教育課程とは？

## 児童生徒の生涯学習力を高める教育課程の編成



# 2020年度 生涯学習力を高める教育課程とは？

???  
WG

ワーキンググループ設定の理由

???  
WG

???  
WG



# 私の応援計画 (高等部生徒用)



名前

## 将来の目指す姿

<働く>  
①接客業をしたい。  
はたらく

<喜ぶ>  
②結婚をしたい。  
③お金の使い方に自信がほしい。  
くらす

<楽しむ>  
④釣りしたい。  
⑤旅行で海外に行きたい。  
たのしむ

### 将来のために学校生活で取り組むこと

- ① 言葉遣いに気を付けて会話をする。
- ② 挨拶をしっかりとし、よりコミュニケーションをとる。
- ⑤ ネットの使い方について知る。

【前期評価】

【後期評価】

### 将来のために現場実習で取り組むこと

- ① 緊張せずに会話をする。  
(お客さん、店の人)

【前期評価】

【後期評価】

### 将来のために家庭生活で取り組むこと

- ⑤ 時間を決めてネットを使う。
- ③ 必要な分を考えて買い物をする。

【前期評価】

【後期評価】

# 2020年度 生涯学習力を高める教育課程とは？

はたららく  
WG

ワーキンググループ設定の理由

くらす  
WG

たのしむ  
WG



# イメージ

3つのワーキンググループ  
による研究推進

共生社会の実現

GOAL

夏のセミナー

たのしむWG

くらすWG

はたらくWG

START

# イメージ

3つのワーキンググループ  
による研究推進

共生社会の実現

全校授業研究会・授業づくり研修会

GOAL

夏のセミナー

たのしむWG

くらすWG

はたらくWG

START

夏のセミナー

# イメージ

3つのワーキンググループ  
による研究推進

共生社会の実現

各WGの内容を共有  
学部単位でのLLミーティング  
全体でのLLミーティング

GOAL

夏のセミナー

たのしむWG

くらすWG

はたらくWG

START

夏のセミナー



# イメージ

3つのワーキンググループ  
による研究推進

共生社会の実現

## 「生涯学習力」を高める教育課程

GOAL

夏のセミナー

たのしむWG

くらすWG

はたらくWG

START

夏のセミナー



# 2020年度 生涯学習力を高める教育課程とは？

はたらく  
WG



## 教育課程編成に向けて

- ・ストーリーづくり  
（学部間連携、地域の活用）
- ・気づきを大切にした授業づくり

### キーワード

- ・働く目的ややりがい（ストーリー）をもつ
- ・気づきを基に自ら取り組もうとする

「はたらく意欲」を高めることが欠かせない

「はたらく」視点で検討



# 2020年度 生涯学習力を高める教育課程とは？

## 中学部

作業学習（紙工班）「よりよい製品を作ろう～においとりパック～」

生徒の「気付き」から考える  
「はたらく意欲」を高めるための支援

**意欲を高めるためのきっかけや背景、  
意欲が高まるプロセスを共有**

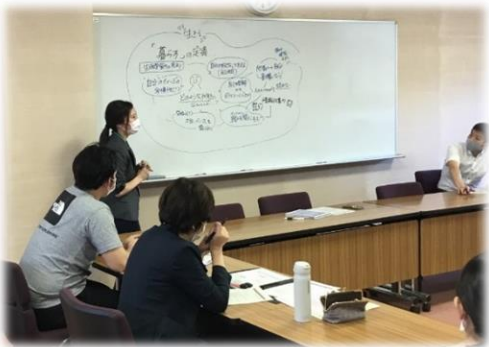


# 2020年度 生涯学習力を高める教育課程とは？

くらす  
WG

## 教育課程編成に向けて

- ・ 「ゆるねっと」の実現とマイマップ作り
- ・ Dスタディの検討（内容・時数）
- ・ 情報モラルに関する学習内容の検討
- ・ 高等部の学習の枠組み変更  
「はたらく」「くらす」「たのしむ」



## キーワード

- ・ ロールモデルの存在
- ・ ゆるやかなネットワークづくり
- ・ 情報へのつながり方

「みんなが使える場所の利用」について検討



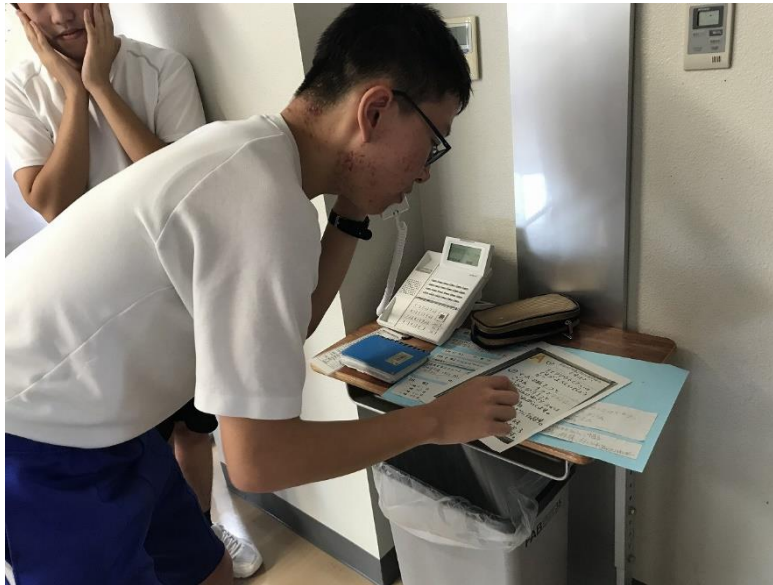
# 2020年度 生涯学習力を高める教育課程とは？

## 高等部

Dスタディ「みんなでGO!②～飲食店でテイクアウト編～」

生徒の気付く姿を引き出す手立て

「ヒト・モノ・コトとつながる、関わること」の重要性  
「ゆるやかなネットワーク」構築の必要性



# 2020年度 生涯学習力を高める教育課程とは？

## たのしむWG

### 教育課程編成に向けて

- ・ 「学ぶ楽しさ」を知る単元計画、授業実践
- ・ 学校の取組を地域の中へ

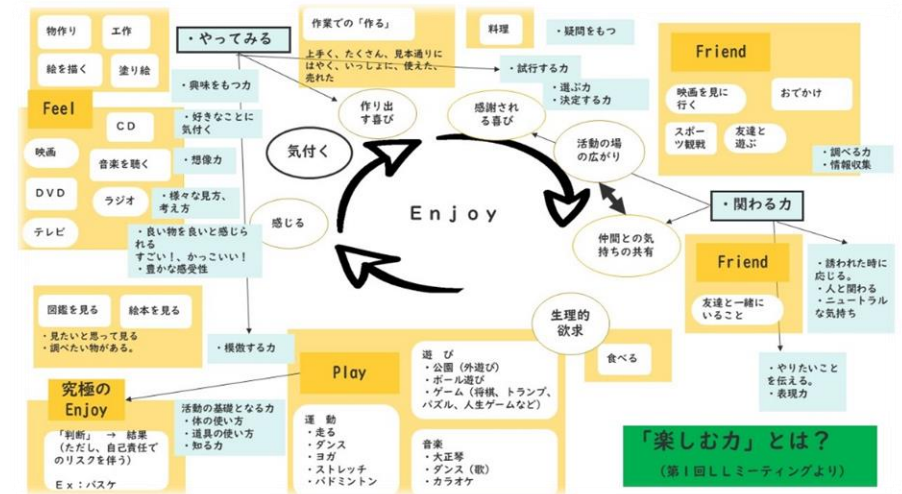


### キーワード

- ・ 幅広い経験、何かに没頭する経験
- ・ 様々な人との関わり

「たのしむ」には、「楽しい活動」と「楽しむための力」がある

「たのしむ」視点で検討



# 2020年度 生涯学習力を高める教育課程とは？

## 小学部

授業づくり研修会 図画工作科 造形遊び「びりびりいろんなかたち」

「楽しむ姿」「心の動き」に着目したワークショップ  
地域の方（デイサービス職員、生涯学習奨励員等）の参加

児童生徒には、すでに「楽しむ力」がたくさんある  
生涯学習力を育むために、地域でできることがある  
「子どものニーズに応えたい」という地域の声がある  
地域の方と一緒に「私の応援計画」を作成できる可能性



# 2020年度 生涯学習力を高める教育課程とは？

働く視点と重点ポイントの整理

中学部・高等部作業学習の連携

意欲が高まるプロセスの共有

「みんなが使える場所」の利用

枠組み（はたらく・くらす・たのしむ）

ゆるやかなネットワークづくり

地域の方と実現する学習の展開

はたらくWG  
中学部

ロールモデル

つながりマップ

くらすWG  
高等部

たのしむWG  
小学部

作業製品販売に向けた連携

働く目的や楽しみ  
（ストーリー）に地域を活用

夢や願いを共有し、  
「私の応援計画」の作成

楽しむ力の共有

様々な人との関わり

地域・社会（生涯学習奨励員等）の活用

子どもたちのニーズに応えたい地域の声



# 2020年度 生涯学習力を高める教育課程とは？



# 2020年度 生涯学習力を高める教育課程とは？

働く視点と重点ポイントの整理

枠組み（はたらく・くらす・たのしむ）

夢や願いを共有し、  
「私の応援計画」の作成

学びの積み重ね

ロールモデルの存在

楽しむ力の共有

中学部・高等部学習の連携

「みんなが使える場所」の利用

意欲が高まるプロセスの共有

# 2020年度 生涯学習力を高める教育課程とは？

子どもたちのニーズに応えたい地域の声

地域・社会（生涯学習奨励員等）の活用

地域の方と実現する学習の展開

様々な人との関わり

学びのネットワーク

ゆるねっと（マップ）

作業製品販売に向けた連携

働く目的ややりがい  
（ストーリー）に地域を活用

ゆるやかなネットワークづくり

生涯学習力を高める教育課程編成のイメージ



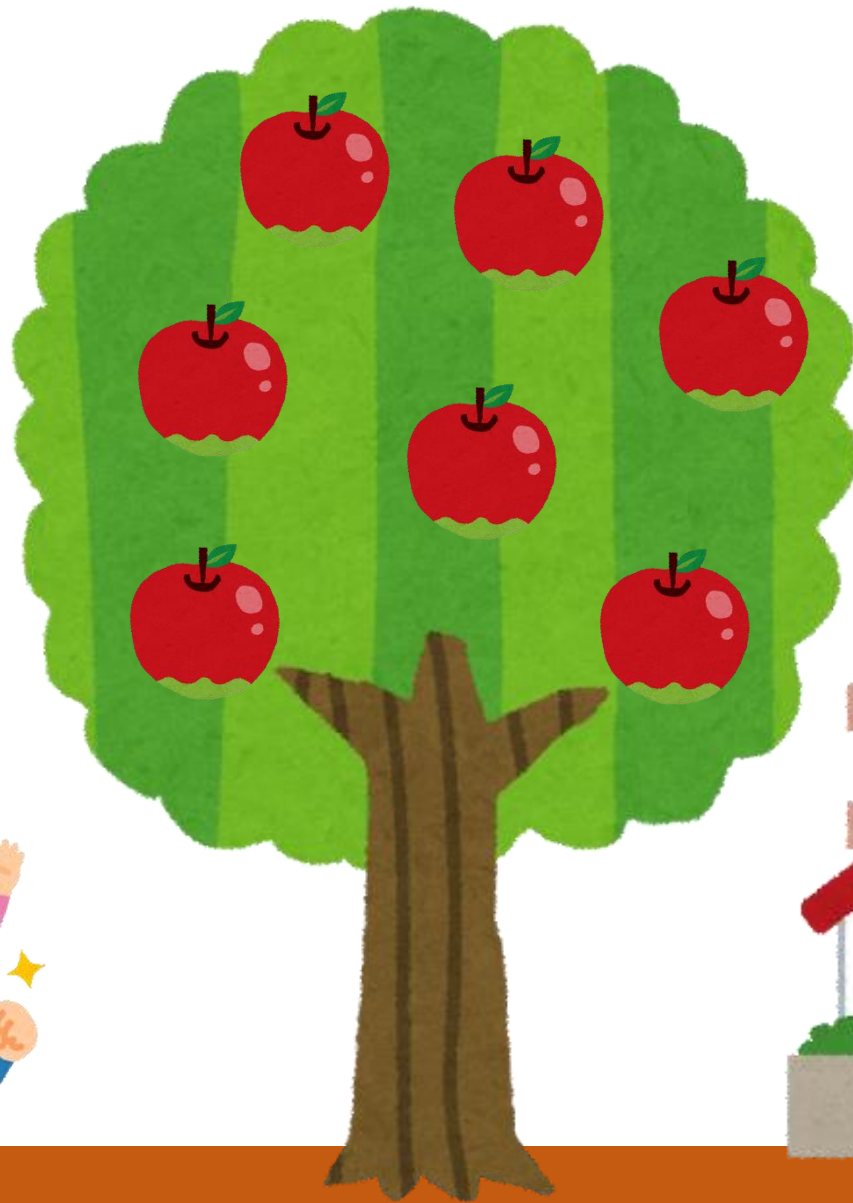
学びのネットワーク

学びの積み重ね

私の応援計画

イメージ

# 生涯学習力の木





学びのネットワーク

学びの積み重ね

私の応援計画

## 高等部の教育課程の枠組み

「はたらく」「くらす」「たのしむ」に

## 高等部Dスタディ (Discovery Do)

問題発見・問題解決学習

## 中学部・高等部の連携

「作業学習」と「進路学習」を中心に

## 地域の積極的な活用

学習や発達段階のねらいに応じて

## マップの作成と活用

地域を知るために（児童生徒）

授業づくりのために（教師）



私の応援計画

## 今後に向けて

### 学びの確かな積み重ねの検証

小学部から中学部、高等部へ  
高等部から社会へ

### 地域とのネットワークの検証

地域と協働という関係になるためには？

### 授業場面での検証

授業づくりのポイントは活用できるか？

### ICTの積極的な活用

Google my mapを使ったマップ作り

### 新たな教育課程の評価・改善

教育目標、教育内容、時数、授業

9 : 4 0	研究説明
1 0 : 0 0	LLトーク Lifelong Learning
1 1 : 2 0	休 憩



(1) 情報提供「つながりをどう生み出すか」  
秋田県生涯学習センター 柏木 睦 氏

(2) 情報提供「生涯学習モデル講座」  
秋田大学

(3) 情報交換タイム【ブレイクアウトルーム活用】  
テーマ①「学びのネットワークを考える」  
テーマ②「現在と未来を考える」  
※どちらかをお選びください

(4) 共有タイム【チャット機能活用】

(5) 講評  
秋田大学大学院教育学研究科 原 義彦 氏

#### 情報交換タイムについて

生涯学習力を高めるためには、空間軸と時間軸で学びのつながりと児童生徒の姿を捉える必要があると考えました。そこで、参加者の皆様の取組の情報を知り、今後の実践に生かしたいと思います。

テーマ① 地域の人的・物的資源を積極的に活用している事例はありませんか？

テーマ② 学部間、卒業後へのつながりを意識して、学びを積み重ねている事例はありませんか？